



●2022年度当初予算(原案)の特徴

1万円未満切り捨て

	当初予算額	前年当初予算比	
歳出			※保留財源:2億円 復活要求:1月26日迄
一般会計	1062億6,798万円	6.8% 増	
特別会計	489億3,304万円	7.4% 増	
合計	1,551億9,103万円	4.0% 増	
歳入			
特別区税	534億7,092万円	7.4% 減	

- <主な特徴> 新規及び拡充事業の抜粋
- 子育て関係の施策
    - ・ 2022年度私立認可園1園増設 [2021年4月の認可園待機児402人]
  - 障害者のための施策
    - ・ 心身障害者(児)福祉タクシー券の対象を、精神障がい1級に拡大
    - ・ 神宮前三丁目障がい者施設整備工事
  - 介護・高齢者のための施策
    - ・ 地域包括支援センターの機能強化  
4カ所の基幹センターに、生活支援コーディネーター、地域福祉コーディネーター各1名担当者を配置
    - ・ 認知症予防事業(認知症健診プログラムの実施)
    - ・ 敬老金贈呈経費 ※1万円の現金給付で予算化
  - ※ デジタル活用支援員派遣事業
  - 区民施設等
    - ・ 千駄ヶ谷区民複合施設(仮称)整備事業
    - ・ 二の平渋谷荘事業企画策定及び設計業務
  - ▼ 伊豆・河津保養所の運営継続
  - 学校教育のための施策
    - ▼ 渋谷図書館の予算はなし
    - ・ 普通教室改修(神南小、上原小、鳩森小、代々木山谷小、笹塚小、本町学園小)
    - ・ 学校法律相談業務
    - ・ スクールカウンセラー活用事業(スクールカウンセラーの増員)
    - ・ 中学校部活動支援事業(外部指導員の増員)
  - ※ 中学校基本計画策定(中学校建て替え計画の策定)
  - ・ 幡ヶ谷社会教育館耐震改修その他工事
  - 健康・スポーツのための施策(コロナ対策を含む)
    - ・ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 ※12歳未満の接種等
  - 防災・まちづくりのための施策
    - ・ プラスティック資源回収実施(2022年7月～)
    - ・ 環境基本計画中間見直し(計画期間2023年～28年)
    - ・ 空き家対策事業(実態調査 1700万円)
    - ・ 中小企業事業資金融資利子補給金(利子:業態転換0%、事業継承0.4%)
    - ・ 鉄道駅ホーム柵等整備促進事業補助金(京王線笹塚駅 R4～R5)
    - ・ 耐震化緊急促進アクションプログラム戸別訪問(旧耐震基準以下の派遣)
    - ・ 民間賃貸住宅入居促進事業(見守りサービス等の初期費用負担)
  - 都市施設整備のための施策
    - ▼ 渋谷駅周辺再開発事業への税金投入  
渋谷駅街区北側自由通路整備、渋谷駅桜丘口地区第一種市街地再開発事業、渋谷駅南口北側自由通路、都市計画道路補助18号線整備事業など
    - ※ 玉川上水旧水路緑道整備 ※緑道上施設等の設計、構造物撤去など
    - ※ 西参道プロジェクト(高速道路高架下や歩道整備等)
    - ▼ 都市再生ステップアップ・プロジェクト(美竹分庁舎跡地等の開発事業)
    - ※ (仮称)渋谷区ロードレースフェスタ実行委員会負担金(水道道路でのマラソンフェス)
    - ※ 恵比寿南一公園指定管理(プレイパークの整備/公園PFI)
    - ※ ふれあい植物センター改修工事
  - デジタル化とIT産業等のための施策
    - ▼ スタートアップ支援事業 ※スタートアップ企業のための会議室や人件費
    - ▼ スマートシティ推進事業 ※住民情報を産官学民で活用
    - ▼ デジタル地域通貨事業(アプリの開発、ランニングコスト等)
    - ▼ 教育データ活用事業(タブレットに蓄積された個人情報の活用)
  - その他
    - ・ 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業(国が保育士等の賃金引上げ)
  - ※ 渋谷ユニテイド運営費補助金(学校外での、地域クラブ活動の推進)
  - ▼ 国保料、後期高齢者医療保険料は、値上げが計画されています

※:住民の立場で注視する必要あり ▼:大企業のための事業や無駄な事業、区民の願いに背く事業

2022年度渋谷区当初予算(原案)が内示される  
**コロナ対策は不十分、渋谷図書館廃止、国保料値上げの一方、再開発・大企業支援は拡大**

2022年度の渋谷区当初予算(原案)が、1月21日に内示されました。新型コロナウイルス感染者が急増し、医療崩壊や社会インフラの機能低下が危惧されています。必要な入院ができない事態や保育園や介護・高齢者サービス提供事業所の休業も起きています。

政の役割の発揮と税金の使い方が求められています。2022年度予算原案は、コロナ対策の多くが国の事業の範囲内で区独自の対策はほとんどありません。

党区議団の提案実る

日本共産党区議団が提案してきた福祉タクシー券の対象を精神障がい者1級に拡大、小学校3年生までの35人学級の拡大、スクールカウンセラーの増員などが予算化されたことは前進です。

渋谷図書館廃止、国保料値

上げなどの負担増強いる  
 区民や利用者の声で渋谷図書館廃止条例は継続審議になったのに、来年度予算には渋谷図書館は予算措置されていません。コロナ禍のもとで国保料や後期高齢者医療保険料の値上げも狙われています。

再開発・大企業支援は拡大  
 渋谷駅周辺再開発事業関連には37億円、ササハタハツの緑道整備に5億円以上、一部の民間営利企業・スタートアップ企業支援は1億6500万円もの予算を計上し、大型開発・大企業支援を拡大しています。

日本共産党区議団は1月26日、長谷部区長に、「2022年度予算原案に対する復活要求書」を提出しました。(内容は、次号で紹介いたします)